

# 第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 前 期 実 施 計 画 書 兼 事 務 事 業 事 後 評 価 調 書

様式 1

No. 10040010

政策目標	4 【快適感を満たす環境のまち・雄武】～生活環境・生活基盤の充実～	会 計 区 分	4 簡易水道事業会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	15 上・下水道の整備	事業優先度	B	量水器更新事業は計量法の適用を受け、適正な使用水量を把握するためには、継続した事業実施が必要となるものです。
単位施策	1 水道の安定供給	政策事務分類	4 法定自治事務	
事業名	簡易水道事業量水器更新事業	見直し年度		
事業期間	平成30年度～令和4年度	担 当 年 課	10 建設水道課	
事業主体	雄武町	関 係 課	#N/A	
事業指標	計量法に基づく料金の適正化を図る。		#N/A	
事業目標	検定満了量水器更新台数	ハード／ソフト事業区分	1 ハード事業	
町民参加	無	関係例規・法令名	有	
町民協働		関係個別計画名	無	

全 体 計 画 事 業 内 容		平成 30 年度 事 業 内 容	令和 元 年度 事 業 内 容	令和 2 年度 事 業 内 容	令和 3 年度 事 業 内 容	令和 4 年度 事 業 内 容	
計 画 内 容	計量法第9条に基づく、量水器検定満了期間8年での更新が義務付けされており、使用水量に対する料金徴収を適正に行うための事業です。	更新対象量水器 φ13～75mm 322台 ・材料費 7,137千円 ・工事請負費 8,694千円 合計 15,831千円	更新対象量水器 φ13～100mm 324台 ・材料費 7,976千円 ・工事請負費 8,748千円 合計 16,724千円	更新対象量水器 φ13～50mm 313台 ・材料費 6,631千円 ・工事請負費 8,451千円 合計 15,082千円	更新対象量水器 φ13～50mm 321台 ・材料費 7,120千円 ・工事請負費 8,667千円 合計 15,787千円	更新対象量水器 φ13～50mm 308台 ・材料費 6,916千円 ・工事請負費 8,316千円 合計 15,232千円	
	事業費(千円)	78,656	15,831	16,724	15,082	15,787	15,232
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	78,656	15,831	16,724	15,082	15,787	15,232	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	29,958	15,271	14,687	0	0	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	29,958	15,271	14,687				
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	
	【評価・実績】		更新対象量水器 φ13～75mm 322台 ・材料費 6,955千円 ・工事請負費 8,316千円 合計 15,271千円	更新対象量水器 φ13～75mm 307台 ・材料費 6,771千円 ・工事請負費 7,916千円 合計 14,687千円			
			※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	第5期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	322台	324台	313台	321台	308台
		年度達成率	96%	88%	0%	0%	0%
	後期計画への継続 (継続有り)	全体達成率	19%	38%	38%	38%	38%
	備考欄						

事業名	簡易水道事業量水器更新事業	評価者 管理職 職氏名	建設水道課長	田原 慎也
		評価者 作成者 職氏名	建設水道課長補佐	江田 一夫

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

誰、何が(対象)	町民、水道	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	量水器更新台数		
抱える課題やニーズ	適正な使用水量の把握		指標(指標計算式/解説)		
どのような状態になることを目指したのか(意図)	計量法に基づいた適正な更新		① 更新量水器/更新量水器実績	目標年度	令和元年度
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果=目的	適正な使用水量の把握			目標値	324台
			実績値	307台	
		達成度	94.8%		
内容(どのような手段で何を行ったか)	民間業者による物品購入と工事の実施	入札により民間業者に発注し、量水器更新事業を行なった。	②	目標年度	令和元年度
				目標値	
			実績値		
			達成度		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの	計量法に基づいて量水器を更新することは、適正な使用水量を把握するうえで、町が担う必要のある事業である。
必要/概ね必要		<input checked="" type="checkbox"/> 全部	
課題あり		<input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	検定満了期間に合わせた量水器の更新により、適正な使用水量が把握できた。
有効/概ね有効		<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
課題あり		<input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	量水器ボックス設置により、今後の掘削費が軽減されていくことは、効率的であると判断する。
効率的/概ね効率的/課題あり		<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
		<input type="checkbox"/> 人員削減	
		<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
		<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	量水器の更新で使用水量が把握できたことは、公平であると判断する。
公平/概ね公平/公平でない		<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
		<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
		<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
		<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
計量法に基づいた量水器更新は、今後も計画通りに事業を進めることが適当であると判断する。		

<div style="background-color: yellow; border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                 今後の展開方向 (Action)             </div>	↓	↓	↓
継続/現状維持			
計量法に基づいた量水器更新は、継続、現状維持が適当である。			

- ※展開方向の区分
- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
  - 終了 ○休止 ○廃止

# 第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 前 期 実 施 計 画 書 兼 事 務 事 業 事 後 評 価 調 書

様式 1

No. 10040020

政策目標	4 【快適感を満たす環境のまち・雄武】～生活環境・生活基盤の充実～	会 計 区 分	4 簡易水道事業会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	15 上・下水道の整備	事業優先度	A	・浄水場の水質計測機器および計装・監視・動力設備に係る消耗部品は、年1回の交換が必要となります。 また、電気・機械の主要装置は、運転状況に応じて約10年ごとの定期的な分解整備・更新が必要となるものであり、水道水の安定供給のために、継続した整備が不可欠となります。
単位施策	1 水道の安定供給	政策事務分類	4 法定自治事務	
事業名	浄水場電気機械設備更新整備事業	見直し年度		
事業期間	平成30年度～令和4年度	担 当 課	10 建設水道課	
事業主体	雄武町	関 係 課	#N/A	
事業指標	更新施設数		#N/A	
事業目標	3施設	ハード／ソフト 事業区分	1 ハード事業	
町民参加	無	関係例規・法令名	有	
町民協働		関係個別計画名	無	

全 体 計 画 事 業 内 容		平成 30 年度 事 業 内 容	令和 元 年度 事 業 内 容	令和 2 年度 事 業 内 容	令和 3 年度 事 業 内 容	令和 4 年度 事 業 内 容		
計 画 内 容	雄武、沢木、幌内浄水場の3施設に係る電気機械設備更新整備事業として、青葉第二浄水場が稼動から41年となり、改修工事から10年目となります。また、沢木浄水場が稼動開始から20年目となり、多種に渡る電気・機械装置の経年使用による故障が懸念されるところであります。よって、稼動頻度の多い順に更新整備が必要となるものであり、浄水場施設の安定稼動維持のために要望いたします。	沢木浄水場 ・膜ろ過装置ろ過水維持委託業務 ・薬品注入ポンプ設備更新工事  ・浄水場電気計装部品更新工事  ・浄水場機械設備分解整備工事 青葉第二 送水ポンプ分解整備 " 表洗ポンプ分解整備 " 真空ポンプ分解整備	沢木浄水場 ・膜ろ過装置ろ過水維持委託業務 ・粒状活性炭更新工事  ・浄水場電気計装部品更新工事 ・水質計測器等更新設計委託業務 ・青葉第二 原水濁度計更新工事 ・" 浄水濁度計更新工事 ・浄水場機械設備分解整備工事 水質サンプリングポンプ更新 末広配水池 配水ポンプ整備 沢木 コンプレッサー分解整備	沢木浄水場 ・UF膜ろ過装置更新工事  ・浄水場電気計装部品更新工事 ・青葉第二 原水色度計更新 ・沢木 浄水濁度計更新工事 ・幌内 浄水濁度計更新工事 ・浄水場機械設備分解整備工事 フロキュレーター 4台分解整備 沢木 前処理・膜原水・膜逆洗・活性炭ポンプ・前処理ブロワ分解整備	沢木浄水場 ・膜ろ過装置ろ過水維持委託業務 ・膜ろ過制御システム部品更新  ・浄水場電気計装部品更新工事 ・沢木 シーケンサ監視制御更新工事  ・浄水場機械設備分解整備工事 青葉第二 薬品注入ポンプ、フロキュレーター、除湿機分解整備、 場内給水ユニット更新	沢木浄水場 ・膜ろ過装置ろ過水維持委託業務 ・膜ろ過装置ユニット部品更新  ・浄水場電気計装部品更新工事 ・沢木 原水色度計更新工事 ・沢木 浄水色度計更新工事 ・沢木 浄水池水位計更新工事  ・浄水場機械設備分解整備工事 青葉第二 急速攪拌機整備 場内給水ユニット更新		
	計 画 事 業 費	事業費(千円)	197,084	14,276	38,087	51,641	51,801	41,279
実 績 事 業 費	財源内訳	国庫支出金	13,788	3,244	3,126	4,527	2,891	
		道支出金	0					
		地方債	72,900	0	11,400	15,700	28,000	17,800
		その他	0					
		一般財源	110,396	14,276	23,443	32,815	19,274	20,588
関 連 事 項	事業費(千円)	50,042	13,565	36,477	0	0	0	
	財源内訳	国庫支出金	3,211	3,211				
		道支出金	0					
		地方債	10,500	10,500				
		その他	0					
	一般財源	36,331	13,565	22,766				
	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	
		【評価・実績】	・膜ろ過維持業務 1,620千円 ・薬品ポンプ更新 2,808千円 ・電気計装部品更新 2,657千円 ・浄水場機械整備 6,480千円 合計 13,565千円	・膜ろ過維持業務 1,620千円 ・粒状活性炭更新 10,120千円 ・電気計装部品更新 1,617千円 ・濁度計更新設計・工事 13,770千円 ・浄水場機械整備 9,350千円 合計 36,477千円				
			※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	
	第5期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	2施設	3施設	3施設	2施設	2施設	
		年度達成率	95%	96%	0%	0%	0%	
	後期計画への継続 (継続有り)	全体達成率	7%	25%	25%	25%	25%	
		備考欄						

事業名	浄水場電気機械設備更新整備事業	評価者 管理職 職氏名	建設水道課長	田原 慎也
		評価者 作成者 職氏名	建設水道課長補佐	江田 一夫

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

誰、何が(対象)	町民、水道	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標) 指標(指標計算式/解説)	更新整備施設数		
抱える課題やニーズ	機器故障による浄水処理機能停止		① 施設数/整備実施数	目標年度	令和元年度
どのような状態になることを目指したのか(意図)	浄水機能の維持継続による安定稼働			目標値	3施設
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果=目的	民間業者による更新整備事業を実施した。		②	実績値	3施設
内容(どのような手段で何を行ったか)	民間業者による更新整備事業を実施した。	達成度		100.0%	
		見積により民間業者に発注し、更新整備事業を行なった。	目標年度	令和元年度	
			目標値		
			実績値		
			達成度		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	町民生活や産業諸活動に対し、水質の安定維持と供給確保のため の浄水施設更新整備を行なうことは、町が担う必要がある。
必要/概ね必要 /課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	電気機械設備の更新整備により、施設の延命及び水質維持のため の施設整備が図られた。
有効/概ね有効 /課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	
	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由		稼働頻度の高い設備優先による更新整備の実施及び使用可能設備 の再使用による経費節減を図ったことは、有効的であると判断する。
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業費抑制	
効率的/概ね効 率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由		水の安定供給が図られたことから、公平であると判断する。
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
公平/概ね公平 /公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
水の安定供給のためには、 今後も計画通り事業を進める ことが適当であると判断す る。		

<b>今後の展開方向 (Action)</b>	↓	↓	↓
継続/現状維持			
水の安定供給のためには、 継続現状維持が適当であると 判断する。			

※展開方向の区分  
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
○終了 ○休止 ○廃止

# 第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 前 期 実 施 計 画 書 兼 事 務 事 業 事 後 評 価 調 書

様式 1

No. 10040030

政策目標	4 【快適感を満たす環境のまち・雄武】～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	4 簡易水道事業会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 漏水調査業務は、平成23年から継続して実施しており、雄武、沢木、幌内地区の有収率が90%以上を目標に行っているところであり、目標値が確保された場合には1度休止することとしたい。
基本施策	15 上・下水道の整備	事業優先度	A	
単位施策	1 水道の安定供給	政策事務分類	2 単独自治事務(個別計画)	
事業名	簡易水道事業管路漏水調査事業	見直し年度		
事業期間	平成30年度～令和4年度	担当課	10 建設水道課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	調査延長		#N/A	
事業目標	25Km	ハード／ソフト事業区分	1 ハード事業	
町民参加	無	関係例規・法令名	無	
町民協働		関係個別計画名	無	

全 体 計 画		平 成 30 年 度	令 和 元 年 度	令 和 2 年 度	令 和 3 年 度	令 和 4 年 度
事 業 内 容		事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容
計 画 内 容	雄武町簡易水道給配水管路漏水調査業務により有収率向上を図るため実施するものです。	・雄武町簡易水道配水管漏水調査業務 L=5Km	・雄武町簡易水道配水管漏水調査業務 L=5Km	・雄武町簡易水道配水管漏水調査業務 L=5Km	・雄武町簡易水道配水管漏水調査業務 L=5Km	・雄武町簡易水道配水管漏水調査業務 L=5Km
	事業費(千円)	2,500	500	500	500	500
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	2,500	500	500	500	500	
実 績 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	886	432	454	0	0	
関 連 事 項	特定財源の名称					
	【評価・実績】	(実施内容等) 雄武地区簡易水道給配水管漏水調査業務 L=5.0Km	(実施内容等) 雄武地区簡易水道給配水管漏水調査業務 L=5.0Km	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
		※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	第5期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	5Km	5Km	5Km	5Km
		年度達成率	86%	91%	0%	0%
	後期計画への継続 (継続無し)	全体達成率	17%	35%	35%	35%
		備考欄				

事業名	簡易水道事業管路漏水調査事業	評価者 管理職 職氏名	建設水道課長	田原 慎也
		評価者 作成者 職氏名	建設水道課長補佐	江田 一夫

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

誰、何が(対象)	町民、水道	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	漏水調査延長								
抱える課題やニーズ	給配水管破裂事故による断水	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
どのような状態になることを目指したのか(意図)	漏水量の低減、破裂事故による断水の未然防止を図る。	① 漏水調査延長/漏水調査延長の実績	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>令和元年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>5 Km</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>5 Km</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0 %</td></tr> </table>	目標年度	令和元年度	目標値	5 Km	実績値	5 Km	達成度	100.0 %
目標年度	令和元年度										
目標値	5 Km										
実績値	5 Km										
達成度	100.0 %										
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果=目的	安定供給の維持、強化を図る。	②	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>令和元年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td></td></tr> <tr><td>実績値</td><td></td></tr> <tr><td>達成度</td><td></td></tr> </table>	目標年度	令和元年度	目標値		実績値		達成度	
目標年度	令和元年度										
目標値											
実績値											
達成度											
内容(どのような手段で何をを行ったか)	民間業者による委託の実施	見積により民間業者に発注し、漏水調査事業を行なった。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	漏水量低減、安定供給維持のための業務は、町が担う必要がある。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	漏水が発見され修理できたことは、漏水量低減が図られた。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	漏水量の多い地区を選定したことで、事業費が軽減されたことは効率的であると判断する。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	漏水量が低減し、安定供給が維持されたことは、効率的であると判断する。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
課題あり	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
水の安定供給のためには、今後も漏水量の把握に努め、事業を進めることが適当であると判断する。		

今後の展開方向  
(Action)

継続/現状維持		
水の安定供給のためには、継続現状維持が適当であると判断する。		

- ※展開方向の区分
- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
  - 終了 ○休止 ○廃止



# 第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 前 期 実 施 計 画 書 兼 事 務 事 業 事 後 評 価 調 書

様式 1

No. 10040040

政策目標	4 【快適感を満たす環境のまち・雄武】～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	4 簡易水道事業会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	15 上・下水道の整備	事業優先度	B	仕切弁篋補修他小工事については、簡易水道給・配水施設の補修を行うための小工事費であり、維持管理を含め柔軟な対応が求められることから、継続した事業実施が必要となるものです。
単位施策	1 水道の安定供給	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	弁篋補修他小工事事業	見直し年度		
事業期間	平成30年度～令和4年度	担当課	10 建設水道課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	管路施設		#N/A	
事業目標	適切な補修	ハード／ソフト事業区分	1 ハード事業	
町民参加	無	関係例規・法令名	無	
町民協働		関係個別計画名	無	

全体計画 事業内容		平成 30 年度 事業内容	令和 元 年度 事業内容	令和 2 年度 事業内容	令和 3 年度 事業内容	令和 4 年度 事業内容	
計 画 内 容	雄武町簡易水道配水管施設の仕切弁篋補修の他、給配水管による突発的な改修の必要に応じ柔軟な対応を図るための事業であります。	・仕切弁篋補修他小工事 弁篋補修(標識含) 給配水管改修	・仕切弁篋補修他小工事 弁篋補修(標識含) 給配水管改修	・仕切弁篋補修他小工事 弁篋補修(標識含) 給配水管改修	・仕切弁篋補修他小工事 弁篋補修(標識含) 給配水管改修	・仕切弁篋補修他小工事 弁篋補修(標識含) 給配水管改修	
	事業費(千円)	6,500	1,300	1,300	1,300	1,300	
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	6,500	1,300	1,300	1,300	1,300		
実 績 事 業 費	事業費(千円)	2,089	1,253	836	0	0	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	2,089	1,253	836				
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等) 仕切弁篋補修他小工事 ・弁篋補修(標識含) ・給配水管改修	(実施内容等) オコツナイ川既設水道管撤去工事 (河川拡幅工事に伴う既設配水管 φ150 L= 22m 撤去)	(実施内容等)	(実施内容等)	
	【評価・実績】						
			※事務事業評価結果 A-継続／現状維持	※事務事業評価結果 A-継続／現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	第5期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	適切な補修	適切な補修	適切な補修	適切な補修	適切な補修
		年度達成率	96%	64%	0%	0%	0%
	後期計画への継続 (継続有り)	全体達成率	19%	32%	32%	32%	32%
	備考欄						

事業名	弁篋補修他小工事業	評価者 管理職 職氏名	建設水道課長	田原 慎也
		評価者 作成者 職氏名	建設水道課長補佐	江田 一夫

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

誰、何が(対象)	町民、水道	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	適切な補修								
抱える課題やニーズ	未使用水道管の民地内残置による土地利用への支障	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
どのような状態になることを目指したのか(意図)	未使用管撤去による適正な水道管路維持を図る	① 適切な補修/適切な補修実績	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>令和元年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>適切な補修</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>適切な補修</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0 %</td></tr> </table>	目標年度	令和元年度	目標値	適切な補修	実績値	適切な補修	達成度	100.0 %
目標年度	令和元年度										
目標値	適切な補修										
実績値	適切な補修										
達成度	100.0 %										
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果=目的	将来に渡る安定供給の維持・確保	②	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>令和元年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td></td></tr> <tr><td>実績値</td><td></td></tr> <tr><td>達成度</td><td></td></tr> </table>	目標年度	令和元年度	目標値		実績値		達成度	
目標年度	令和元年度										
目標値											
実績値											
達成度											
内容(どのような手段で何をを行ったか)	民間業者による未使用管撤去の実施	見積により民間業者に発注し、本事業を行なった。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	町民生活のライフラインである水道管路維持業務を遂行するためには、町が担う必要がある。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	未使用管路の撤去整備が適正に行なわれたことは、円滑な業務遂行が図られる。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	河川拡幅工事に併せ、撤去整備が実施できたことは、効率的であると判断する。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	町民生活のライフラインである水道管路維持業務を遂行するための撤去整備が図られたことは、公平であると判断する。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
水道管路維持を図るためには、当該事業を実施する必要があり、今後も計画通り事業を進めることが適当であると判断する。		

<b>今後の展開方向 (Action)</b>	↓	↓	↓
継続/現状維持			
水道管路の適正維持業務遂行のためには、継続現状維持が適当であると判断する。			

- ※展開方向の区分
- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
  - 終了 ○休止 ○廃止



# 第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 前 期 実 施 計 画 書 兼 事 務 事 業 事 後 評 価 調 書

様式 1

No. 10040050

政策目標	4 【快適感を満たす環境のまち・雄武】～生活環境・生活基盤の充実～	会 計 区 分	4 簡易水道事業会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	15 上・下水道の整備	事業優先度	A	・1路線 町道海岸線(元稲府～港町 更新延長 L=3,413m) 事業年度 平成26年～令和元年度 6カ年
単位施策	1 水道の安定供給	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	・2路線 町道音稲府開拓線(青葉第一浄水場～量水器室 更新延長 L=1,400m) 事業年度 令和元年～令和4年度 4カ年 全体事業実施 9カ年 更新延長合計 L=4,813m
事業名	雄武地区配水管更新事業	見直し年度		
事業期間	平成30年度～令和4年度	担 当 年 度	10 建設水道課	
事業主体	雄武町	担 当 課	#N/A	
事業指標	配水管更新延長	関 係 課	#N/A	
事業目標	2485m	ハート／ソフト 事業区分	1 ハード事業	
町民参加	無	関係例規・法令名	無	
町民協働		関係個別計画名	無	

全 体 計 画 事 業 内 容		平 成 30 年 度 事 業 内 容	令 和 元 年 度 事 業 内 容	令 和 2 年 度 事 業 内 容	令 和 3 年 度 事 業 内 容	令 和 4 年 度 事 業 内 容	
計 画 内 容	雄武地区配水管において、昭和51年に布設され40年が経過する管路で、最も漏水事故の発生が懸念される二路線について、町道および国道沿いに布設替えを行い漏水等、破裂事故を未然防止し、安定給水を図ることから実施するものです。	1路線 町道海岸線 配水管更新工事 L=735m	1路線 町道海岸線 配水管更新工事 L=350m	2路線 町道音稲府開拓線 配水管更新工事 L=500m  実施設計 L=500m	2路線 町道音稲府開拓線 配水管更新工事 L=500m	2路線 町道音稲府開拓線 配水管更新工事 L=250m	
	・1路線 町道海岸線 更新延長 L=3,413m (元稲府 旧須藤水産前～港町 旧魚組工場前) (1路線 全体3,413m H30～R1 L=1,177m)  ・2路線 町道音稲府開拓線 更新延長 L=1,400m (低区配水池～量水器室) (2路線 全体1,400m R1～R4 L=1,400m)		2路線 町道音稲府開拓線 配水管更新工事 L=150m 実測調査 L=1,230m 実施設計 L=900m				
計 画 事 業 費	事業費(千円)	417,470	98,000	113,420	85,600	80,300	40,150
	財源内訳						
	国庫支出金	84,100	19,600	22,600	17,100	16,300	8,500
	道支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	309,800	68,400	80,000	67,400	63,000	31,000
その他	0	0				0	
一般財源	23,570	10,000	10,820	1,100	1,000	650	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	205,100	97,718	107,382	0	0	0
	財源内訳						
	国庫支出金	42,200	19,600	22,600			
	道支出金	0					
	地方債	143,300	68,400	74,900			
その他	0						
一般財源	19,600	9,718	9,882				
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	
	◎国庫支出金	【 評 価 ・ 実 績 】	・配水管更新工事 L= 827m	配水管更新工事 L= 349.5m 配水管更新工事(2路線)L= 166.8 更新延長合計 L= 516.3m			
	・生活基盤近代化事業 基幹改良(約20%)			実測調査 L=1,230m 実施設計 L= 900m			
	◎地方債		※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	
	・簡易水道事業債(50%)		A-継続/現状維持	A-継続/現状維持			
	・過疎債(50%)						
	第5期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	735m	500m	500m	500m	250m
後期計画への継続 (継続無し)	年度達成率	100%	95%	0%	0%	0%	
	全体達成率	23%	49%	49%	49%	49%	
	備考欄						

事業名	雄武地区配水管更新事業	評価者 管理職 職氏名	建設水道課長	田原 慎也
		評価者 作成者 職氏名	建設水道課長補佐	江田 一夫

様式1  
令和元年度実施  
令和2年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

誰、何が(対象)	町民、水道	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	更新延長		
抱える課題やニーズ	配水管破裂による断水		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
どのような状態になることを目指したのか(意図)	断水の未然防止			①	目標年度
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果=目的	安定供給の確保・強化		更新延長/更新延長実績	目標値	500 m
				実績値	516 m
内容(どのような手段で何を行ったか)	民間業者による配水管更新の実施	入札により民間業者に発注し、配水管更新を行なった。	達成度	103.2 %	
			②	目標年度	令和元年度
			目標値		
			実績値		
			達成度		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	生活用水の安定供給確保のための配水管更新は、町が担う必要がある。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	断水事故の未然防止が図られた。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	配水管口径の縮小により事業費が軽減されたことは、効率的であると判断する。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	生活用水の安定供給が維持されたことは、公平であると判断する。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
配水管更新により断水事故等の未然防止が図られた。		

今後の展開方向 (Action)	↓	↓	↓
継続/現状維持			
水の安定供給のためには、継続現状維持が適当であると判断する。			

- ※展開方向の区分
- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
  - 終了 ○休止 ○廃止

# 第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 前 期 実 施 計 画 書 兼 事 務 事 業 事 後 評 価 調 書

様式 1

No. 10040060

政策目標	4 【快適感を満たす環境のまち・雄武】～生活環境・生活基盤の充実～	会 計 区 分	4 簡易水道事業会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	15 上・下水道の整備	事 業 優 先 度	A	消火栓更新事業
単位施策	1 水道の安定供給	政 策 事 務 分 類	3 単独自治事務(その他)	事業年度 平成26年度～令和元年度 6カ年 年間 4基更新(新設含) 合計 24基更新
事業名	老朽消火栓更新事業	見 直 し 年 度		
事業期間	平成30年度～令和元年度	担 当 課	10 建設水道課	
事業主体	雄武町	関 係 課	#N/A	
事業指標	更新基数		#N/A	
事業目標	8基	ハート／ソフト 事業区分	1 ハード事業	
町民参加	無	関係例規・法令名	無	
町民協働		関係個別計画名	無	

全 体 計 画 事 業 内 容		平 成 30 年 度 事 業 内 容	令 和 元 年 度 事 業 内 容	令 和 2 年 度 事 業 内 容	令 和 3 年 度 事 業 内 容	令 和 4 年 度 事 業 内 容
計 画 内 容	雄武、沢木簡易水道配水管に接続されている消火栓は古いもので55年が経過しており、内部腐食による漏水・赤水の発生および故障により消火活動に支障を来すおそれがあることから、昭和30年代に設置している老朽化の著しい順から更新を実施するものです。	簡易水道 消火栓更新工事 4基	簡易水道 消火栓更新工事 4基			
	・消火栓更新台数 8基	更新箇所 北浜町 旧龍野宅前(S37設置) 緑 町 中村宅裏(S54) 旭 町 旧菊池水産前(S39) 元沢木 上林宅横(S49)	更新箇所 東浜町 裏主宅前(S39設置) 東浜町 島谷宅前(S39) 東浜町 佐野宅前(S39) 新沢木 沢木小学校前(S49)			
計 画 事 業 費	事業費(千円)	11,390	5,500	5,890	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	11,390	5,500	5,890			
実 績 事 業 費	事業費(千円)	10,740	5,130	5,610	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	10,740	5,130	5,610			
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等) 消火栓更新工事4基 5,130千円	(実施内容等) 消火栓更新工事4基 5,610千円	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】					
	※事務事業評価結果		※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-終了	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	第5期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	4基	4基		
	後期計画への継続 (継続無し)	年度達成率	93%	95%	#DIV/0!	#DIV/0!
		全体達成率	45%	94%	94%	94%
	備考欄					

事業名	老朽消火栓更新事業	評価者 管理職 職氏名	建設水道課長	田原 慎也
		評価者 作成者 職氏名	建設水道課長補佐	江田 一夫

様式1  
令和元年度実施  
令和2年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

誰、何が(対象)	町民、水道用水	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	更新整備基数								
抱える課題やニーズ	経年劣化による消火活動への支障	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
どのような状態になることを目指したのか(意図)	消防用水の安定供給確保・強化	① 更新基数/更新基数実績	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>令和元年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>4基</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>4基</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	令和元年度	目標値	4基	実績値	4基	達成度	100.0%
目標年度	令和元年度										
目標値	4基										
実績値	4基										
達成度	100.0%										
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果＝目的	住民の生命・財産確保	②	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>令和元年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td></td></tr> <tr><td>実績値</td><td></td></tr> <tr><td>達成度</td><td></td></tr> </table>	目標年度	令和元年度	目標値		実績値		達成度	
目標年度	令和元年度										
目標値											
実績値											
達成度											
内容(どのような手段で何を行ったか)	民間業者による消火栓更新の実施	入札により民間業者に発注し、消火栓更新を行なった。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	経年劣化による消火栓更新は、住民生活を守るうえで町が担う必要がある。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	消火活動に必要な消防用水が確保された。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	老朽度が高い消火栓優先による更新整備及び使用可能消火栓の再使用による経費節減を図ったことは、効率的であると判断する。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	

(4)事務事業の公平性

公平	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	住民生活を守るための消防用水が確保されたことは、公平であると判断する。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
計画どおりに老朽度が高い消火栓更新が完了したことから、消防用水の安定供給確保及び強化が図られた。		

今後の展開方向  
(Action)

終了		
今後も消防用水の安定供給及び強化のため、消防支署と連携して消火栓の機能維持と老朽度の把握に努めてまいります。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止

# 第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 前 期 実 施 計 画 書 兼 事 務 事 業 事 後 評 価 調 書

様式 1

No. 10040070

政策目標	4 【快適感を満たす環境のまち・雄武】～生活環境・生活基盤の充実～	会 計 区 分	4 簡易水道事業会計	【全体計画内容】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	15 上・下水道の整備	事業優先度	A	
単位施策	1 水道の安定供給	政策事務分類	2 単独自治事務(個別計画)	
事業名	雄武町簡易水道配水管更新整備事業	見直し年度		
事業期間	平成30年度～令和3年度	担 当 年 課	10 建設水道課	
事業主体	雄武町	関 係 課	#N/A	
事業指標	布設整備延長		#N/A	
事業目標	667m	ハード／ソフト事業区分	1 ハード事業	
町民参加	無	関係例規・法令名	無	
町民協働		関係個別計画名	無	

全 体 計 画 事 業 内 容		平成 30 年度 事 業 内 容	令和 元 年度 事 業 内 容	令和 2 年度 事 業 内 容	令和 3 年度 事 業 内 容	令和 4 年度 事 業 内 容
計 画 内 容	簡易水道区域内において、老朽度の高い配水管および給水管によって給水されている箇所について、配水管の整備・更新を行い漏水防止および安定給水を図るため要望します。 ・町道沢木駅前線配水管整備工事(沢木駅前線および中田スタンド裏住宅地への配水管整備) ・北浜町配水管更新工事(漁業協同組合加工施設および漁業用倉庫への配水管整備) ・沢木地区配水管整備工事(道々宇津沢木線入口雄武側、および国道から旧赤間 宅前までの配水管整備) ・日の出北町配水管整備工事(日の出北町山田電気裏側、国道から町道日の出幹線 までの配水管整備)	町道沢木駅前線配水管整備工事 VP φ 75mm L= 88m PP φ 40mm L= 97m 合計 L=185m	北浜町配水管更新工事 VP φ 125mm L= 182m	沢木地区配水管整備工事 PP φ 30mm L= 195m	日の出北町配水管整備工事 VP φ 75mm L= 105m	
	事業費(千円)	67,480	20,000	25,000	11,240	11,240
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	59,100	18,000	21,400	10,100	9,600
	その他	0				
一般財源	8,380	2,000	3,600	1,140	1,640	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	43,856	19,656	24,200	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	39,400	18,000	21,400		
その他	0					
一般財源	4,456	1,656	2,800			
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	・簡易水道事業債(50%)	【 評 価 ・ 実 績 】	配水管整備工事 L=185m	配水管整備工事 L=196m		
	・過疎債(50%)					
		※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
		A-継続/現状維持	A-継続/現状維持			
第5期計画からの継続	年度目標値	185m	182m	195m	105m	
(継続無し)	年度達成率	98%	97%	0%	0%	#DIV/0!
後期計画への継続	全体達成率	29%	65%	65%	65%	65%
(継続無し)	備考欄					

事業名	雄武町簡易水道配水管更新整備事業	評価者 管理職 職氏名	建設水道課長	田原 慎也
		評価者 作成者 職氏名	建設水道課長補佐	江田 一夫

様式1  
令和元年度実施  
令和2年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

誰、何が(対象)	町民、水道	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標) 指標(指標計算式/解説)	布設整備延長		
抱える課題やニーズ	水産加工等の産業諸活動への支障		① 整備延長/整備延長実績	目標年度	令和元年度
どのような状態になることを目指したのか(意図)	水産加工等の産業諸活動への安定供給確保			目標値	182 m
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果＝目的	安定供給の確保・強化			実績値	196 m
				達成度	107.7 %
		②	目標年度	令和元年度	
			目標値		
			実績値		
			達成度		
内容(どのような手段で何を行ったか)	民間業者による配水管整備の実施	入札により民間業者に発注し、配水管整備を行なった。			

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	産業諸活動の安定供給確保のための老朽配水管更新は、町が担う必要がある。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	産業諸活動の安定供給確保が図られた。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	老朽配水管更新によって、漏水の発生を未然に防止できたことは、経費節減につながり効率的であると判断する。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	産業諸活動の安定供給確保が図られたことは、公平であると判断する。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
配水管更新により産業諸活動への安定給水が確保されたことから、今後も計画通り事業を進めることが適当であると判断する。		

<b>今後の展開方向 (Action)</b>	↓	↓	↓
継続/現状維持			
水の安定供給のためには、継続現状維持が適当であると判断する。			

- ※展開方向の区分  
継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
終了   休止   廃止



# 第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 前 期 実 施 計 画 書 兼 事 務 事 業 事 後 評 価 調 書

様式 1

No. 10040080

政策目標	4 【快適感を満たす環境のまち・雄武】～生活環境・生活基盤の充実～	会 計 区 分	4	簡易水道事業会計	【全体計画内容】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	15 上・下水道の整備	事業優先度		A	
単位施策	1 水道の安定供給	政策事務分類	2	単独自治事務(個別計画)	
事業名	簡易水道事業備品購入事業	見直し年度			
事業期間	平成30年度～令和2年度	担当課	10	建設水道課	
事業主体	雄武町	関係課		#N/A	
事業指標	備品購入台数			#N/A	
事業目標	3台	ハード／ソフト事業区分	1	ハード事業	
町民参加	無	関係例規・法令名	無		
町民協働		関係個別計画名	無		

全 体 計 画 事 業 内 容		平 成 3 0 年 度 事 業 内 容	令 和 元 年 度 事 業 内 容	令 和 2 年 度 事 業 内 容	令 和 3 年 度 事 業 内 容	令 和 4 年 度 事 業 内 容
計 画 内 容	簡易水道事業で保有している備品のなかで、特に、水道業務において必要不可欠な漏水探知器・ハンガーポンプ・水質試験用フロキュレーターの3品目について、納入から15年以上が経過することから購入を要望します。 ・緊急作業用ハンガーポンプ(H13年2月納入) (沢木水源閉塞時、導水管エア抜き復旧に使用) ・漏水探知器(H14年3月納入) (家庭用給水管から配水管までの漏水調査業務に使用) ・水質試験用フロキュレーター(S51年納入) (青葉第二浄水場水質管理業務に使用)	簡易水道事業 ・ハンガーポンプ購入 1台 (吸込管含む)	簡易水道事業 ・漏水探知器購入 1台 (収納ケース含む)	簡易水道事業 ・水質試験用 フロキュレーター購入 1台 (6連式 タイマー付)		
	事業費(千円)	3,450	2,000	850	600	0
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	3,450	2,000	850	600		
実 績 事 業 費	事業費(千円)	2,748	1,907	841	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	2,748	1,907	841			
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等) ハンガーポンプ購入 1台	(実施内容等) 漏水探知器購入 1台	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】					
			※事務事業評価結果 A-継続／現状維持	※事務事業評価結果 A-継続／現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	第5期計画からの継続 (継続無し)	年度目標値	1台	1台	1台	
		年度達成率	95%	99%	0%	#DIV/0!
	後期計画への継続 (継続無し)	全体達成率	55%	80%	80%	80%
	備考欄					

事業名	簡易水道事業備品購入事業	評価者 管理職 職氏名	建設水道課長	田原 慎也
		評価者 作成者 職氏名	建設水道課長補佐	江田 一夫

様式1  
令和元年度実施  
令和2年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

誰、何が(対象)	町民、水道	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標) 指標(指標計算式/解説) ① 購入台数/購入台数実績 ②	備品購入台数		
抱える課題やニーズ	備品装置・機器の故障による水道水安定供給の支障		目標値及び実績値		
どのような状態になることを目指したのか(意図)	生活用水及び産業諸活動への安定供給維持		目標年度	令和元年度	
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果=目的	安定供給の確保・強化		目標値	1台	
		実績値	1台		
		達成度	100.0%		
		目標年度	令和元年度		
		目標値			
		実績値			
		達成度			
内容(どのような手段で何を行ったか)	民間業者による備品購入の実施	見積により民間業者に発注し、備品購入事業を行なった。			

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	生活用水の安定供給確保のための機器・装置の購入は、町が担う必要がある。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況		備品購入事業により水道水の安定供給確保が図られた。
	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由		稼動頻度の高い備品優先による購入の実施及び使用可能備品の再使用による経費節減を図ったことは、効率的であると判断する。
	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由		生活用水の安定供給が確保されたことは、公平であると判断する。
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
公平/概ね公平/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
水道水の供給維持を図るためには、当該事業を実施する必要があり、今後も計画通り事業を進めることが適当であると判断する。		

今後の展開方向 (Action)	↓	↓	↓
継続/現状維持			
水道水の安定供給のためには、継続現状維持が適当であると判断する。			

※展開方向の区分  
継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
終了 休止 廃止